

トップガンジャーナル



Journal of TopGun

令和6年9月8日 第104号

企業訪問「ヤマハ株式会社」

講座内容「アップサイクリングギターを通して未来について考えよう」

トップガン事業では、最先端技術にふれる企業訪問を毎年、実施しています。本年度は、令和6年8月22日（木）に、ヤマハ株式会社（浜松市中区中沢町）訪問を実施しました。受講者は、静岡県西部地区の中学生10名、高校生11名、計21名でした。講師の先生は、ヤマハ株式会社のミュージアムイノベーションロードと研究開発統括部の皆様です。

橋本 誠一 先生
田邑 元一 先生
奥村 啓 先生
松田 秀人 先生 他

今回の参加校(中学校)

静岡大学附属浜松中学校/浜松市立八幡中学校/静岡県立湖西高等学校/浜松北高等学校
(順不同)

【講座概要】

さまざまな楽器の木材から制作されたアップサイクリングギターを元に、価値ある伝統や貴重な資源をどうやって未来に繋げることができるかについて一緒に考えましょう。

古くから楽器にはいろいろな木材が使用され、良い楽器のために良い木材はなくてはならないものになっていますが、その成長には長い年月がかかり、資源の枯渇は長年の課題となっています。

ヤマハでも楽器を作るために多くの木材を調達して使用しますが、中には、残念ながら楽器に使えなかった材料や端材が発生します。ヤマハではこれらを「未利用材」と呼んで、それらを資源として有効活用する取り組みを進めています。多種多様な楽器に用いられる木材には、これまでギターにはあまり用いられなかった木材も含まれますが、それらの魅力を再度見直し、ギター材料として蘇らせることでギターの新しい価値を探索しています。

伝統にとらわれない斬新なギターに実際に触っていただき、そこに隠された楽器を作る伝統的な技法や木材の魅力を体感することで、未来につながる新しい価値についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。



【訪問プログラム】

- 9:00 集合、開会
- 9:10 課外講座スタート
- 10:00 Q&A / 体験
- 10:30 アンケート記入
- 10:50 イノベーションロード見学
- 11:50 ロビー集合、解散



講座「アップサイクリングギターを通して未来について考えよう」



生徒の感想

普段使わなくなっていく部分の材料を使っているギターがあることを知らなかったのですごいなあとと思った。実際にギターの音を聴き比べてもそこまで違いがわからなかったのでいいと思った。木の長さや硬さによって音が変わることも知ることができてよかった。(五十嵐 彩結 静岡県立湖西高等学校 1年)

いつも見ることのないようなギターを見ることができてそして体験することもできてすごく楽しかった。未利用材を利用して新しいギターを作るのはすごいと思っただし、材料を無駄にせず SDGs の使う責任作る責任の取り組みをしていて興味を惹かれた。

研究開発で未来に向けて楽器を開発しているのはカッコいいなと思った。私はこの話を聞いて SDGs にもっと興味を持つことができた。

(伊藤 佑夏 静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年)

もともとギターが好きで、ギターに興味があるので関連するものはひと通り知っておこうと応募しました。アップサイクリングについて、家庭科で服についてしか触れてこなかったのも、ギターもこのようにできることを初めて知ることができたのでよかったです。また、改めてギターはどのような仕組みで、どのようにできているのか学ぶことができたので嬉しかったです。私は将来音楽関係の仕事に就きたいと思っていたのでこの事を参考にして、先のことを考えたいと思います。

(岩井 彩 静岡県立湖西高等学校 2年)

YAMAHA 株式会社さんのお話を聞き多くのことを得ることが出来ました。SDGS のことを考えているとすることができました。ギターを作るとき何種類もの気を使ったり、スクラップを合わせて1つのギターを作ると知りすごいと思った。節を作らないための取り組みも大変と思った。演奏もすごくとてもいい経験になりました。(内山 楓雅 静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年)

ヤマハは楽器というイメージが強かったので、音響機器やゴルフ用品までつくっていると知っておどろきました。ギターのほとんどのパーツが木でできていて、さらに使われている木の種類も多く、すごいと思いました。使われている木材によって音色が変わることにもおどろきました。私は「アップサイクリング」という言葉を初めて聞き、いろいろなところで使われていることを知りました。アップサイクリングギターは、1つ1つの木材を組み合わせていて、とても大変そうでしたが、いろいろな木の個性をまぜることができてすごいと感じました。

(岡田 和夏 静岡県立湖西高等学校 1年)

アップサイクリングギターを考えることで、環境のことだけでなく、新しい音を生むことにも繋がると知り、このような未利用材による楽器に魅力を感じました。

地球を大切にすることで、音楽で幸せを与えられる人よりもさらに多くの人に幸福を届けることになると思い、SDGs と音楽の共生が新しい価値をつくり出すのではとも感じました。自分はギターを弾いたことがありませんが、本日の講座で、アップサイクリングギターの音の良さに気づくことができとても良い経験になりました。本日はこのような課外講座を開いていただきありがとうございました。

(黒田 大喜 静岡県立浜松北高等学校 3年)

普段楽器などをやらないので、まずギターがどのようなもので出来ているのかも知りませんでした。普通のギターとエレキギターの2種類があり、様々な木材を使い、ギターが作られていると知った。木材は、濃い色の方が重くずっしりした音が出せて、薄い色のほうが軽く、やわらかい音を出せると知った。アップサイクリングギターというものがあり、それはたくさんの未利用材を使用して、SDGs の事まで考えられたひとつしかないギターだと知った。今回の訪問を通してギターについての事やSDGs について興味が湧いた。

(小久保 翔琉 静岡県立湖西高等学校 1年)

楽器や音楽にはSDGs には関われないと思っていたのでギターの未利用材を使うことでSDGs に関われるという発想はあまりなかったので新鮮な考えだった。楽器作りで出た未利用材の種類にも楽器にこだわってるからこそ出てしまうという点がとても心にきた。

アップサイクリングギターのデザインなども新鮮で売っていたら値段にもよるが買いたいと思えた

また、ギターの部品によってこの種類が違ふことや、木によって音色が変わること、重さや硬さが違ふと音にも影響することなど、普段ではしれない知識が取り入れられたと思う。

今回の講座を通して音楽にもSDGs の考え方を取り入れたり、ギターなどを変え買えるなどする時に重さや音の軽さなど木に関わることも意識したりしたいと思う。

(近藤 ななせ 静岡県立湖西高等学校 2年)

使われなかった楽器の材料をギターに生かす事で良い事がたくさんあると分かりました。たくさんの種類の材料を使い、見た目がキレイな上、SDGs にも関係していると分かり、とてもすごい事だと思いました。使う素材や重さやかたさによって音まで変わるなんて初めて知ったのでおどろきました。素材一つ一つ重さやかたさが違ふことでどの場所に適しているのか、使い分けるといふ工夫がされていて印象に残りました。アップサイクリングという言葉自体、初めて聞いたので今回の活動でたくさんを知ることができたと思います。

(佐藤 綾音 静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年)

ギターがいろいろな種類の木でできていることをはじめて知りました。アップサイクリングギターはあることすら知らなかったし、ギターもSDGs と関わりがあるこ

とを知ってびっくりしました。木の種類がちがうギターを聴き比べたけどあまり違いがわからなかったのでもた家できいてみたいとおもいました。

(白井 維花 静岡県立湖西高等学校 1年)

アップサイクリングギターについて、地球に良いように作っていて、凄く環境に良いと思いました。ギターの音などが色々あり、違いがわかりやすいものや、わかりにくいものがあるって、聞いていて楽しかったです。

(白石 百合愛 静岡県立湖西高等学校 1年)

今回の講座で、ものづくりについて興味がわきました。特に、伝統的な技術を使って、新しいことに挑戦するというのが印象に残っています。伝統と新しいことは共存できないと思っていましたが、そうすればどちらも共存できることに気づきました。とても面白い講座でした。

(杉嶋 一真 静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年)

今回の講座では、ヤマハの人たちの無駄をなくしながら性能の良い商品を作るという取り組みにはとても感動しました。自分はこの講座に最初は行きたくないと思っていたけれども、体験などをしたことで、きてよかったなと思えるようになりました。講座で話の中心となったギターも講座を聞いているうちにだんだんと弾いてみたいという感情に変わっていきました。

(高橋 和真 静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年)

ギターになかなか触れないので、部分ごとに木材が違ったりアップサイクリングギターなど全然知らなかったのでもたでよかったです。普段じゃあまり考えないような自然のことや、楽器のことを考えられたのですごくいい機会でした。

(藤本 心希 静岡県立湖西高等学校 1年)

私は吹奏楽部をやっていて、ギターについては家で趣味程度としてやらせて頂いているのですが、今回アップサイクリングギターの話を聞いて、その材料として未利用材を利用する発想がとても素敵だなと思いました。まだギリギリ使える木材を1個1個見極めて作るのにどれだけ時間がかかったんだろうなどと思いました。大変な作業だと聞いていて分かるのですが、その結果世界に一つしかないギターが生まれたという事実がとても素敵だと感じました。今回貴重なお話や体験ができて嬉しかったです！

(水鳥 優萌乃 静岡県立湖西高等学校 2年)

ギターのことについてよく分かりました。アップサイクリングギターはふつうのエレキギターよりも重く、音もすこし重みのある音だということが分かりました。いろいろなギターにさわったり、見たり、聞いたりすることで、このギターの特徴がとてもわかりやすく感じる事ができました。木の重さや堅さで、音が変わることには驚きました。未使用材の作りどころをもっと考えて、地球環境にとってもいいようにならせます。 (宮田 真樹男 浜松市立八幡中学校 1年)

SDGs に対する考え方、楽器との関係を深く知ることができた。また、アップサイクルの楽器を作ることの難しさや製品開発についても調査できた。世界に一本だけのアップサイクリングギターをこの眼で見ることができたことがとてもうれしかった。

(村岡 宗一郎 静岡大学教育学部附属浜松中学校 3年)

ギターを触ったことはほとんどないのですが、今日ギターについての話を聞いて、材質についての話や、種類についての話を聞くことができ、とても興味深いと思いました。実際に様々な種類の木を触らせてもらって、色や重さに違いがあることを知ることができました。音色の違いも少し感じる事ができ、材質の特徴があらわれることが感じられました。また、アップサイクルギターは、残った未利用材をリサイクルし、より良い製品にしているということを知り、限りある資源を無駄なく使おうとしていることが伝わってきました。音については、一つの種類の木材でできているものと比べて、少し音が重いような感じはしましたが、同じぐらいの品質を保っていて、すごいと思いました。

(村松 美緒 静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年)

僕は、今回、ヤマハ株式会社さまに訪問させていただき多くのことを、体験し、実感し、いろいろなことを感じる事ができました。その中でも、同じ種類のギターでも、使った木材が少ししか変わらないのに音や曲のふんいきがとても変わってくるにおどろきました。演奏もむずかしいのにとっても簡単そうにひいていたのがとてもかっこよかったです。ギターにもヤマハにももっと興味をもつことができよかったです。

(安井 碧都 静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年)

楽器作りで使用されなかった木材を活用するのはSDGsにも貢献できてとてもいいアイデアだと思いました。私はギターのことをあまり知らなかったので、新しいことを知れて良かったです。そして、アコースティックギターとエレキギターには同じギターという楽器でもたくさんの違いがあると分かりました。

(渡邊 咲来 静岡大学教育学部附属浜松中学校 1年)

今回のおはなしを通して、ギターには種類があり、それぞれの音がちがうのは木がかんけいしていること、楽器作りがSDGsとかんけいしていること、など新たなことを知ることができました。また、種類によって音が聞こえるしくみにちがいがあることにおどろきました。1つの楽器をつくることは、木を育てるところからはじまり、作りやすい形にする必要があること。そのようにするにはとても大変なことが分かり、特にそれに興味をもちました。

(山本 愛音 静岡大学教育学部附属浜松中学校 2年)

【イノベーションロード見学】

「ようこそイノベーションロードへ」の映像を視聴した後、担当スタッフから説明をいただきながら、イノベーションロードを見学しました。

